

## ブライアンモリからのメッセージ

日本語訳

カナダから、日本の投資家の皆様、こんにちは。  
私は Arius3D 社の CEO ブライアンモリです。

日本の投資家の皆様には今回私が直接プレゼンテーションができず、申し訳なく思います。

このムービーで、Arius3D の進捗状況に関して、いくつかお話したいと思います。もちろん上場についてもです。

まずは会社の最新ニュースをお伝えします。

大変嬉しいお知らせは、ホールトレインスタジオを買収することが決定しました。

ホールトレインスタジオは、皆様ご存知の通り、古生物学研究分野において集中的に研究しており、実物大の恐竜を登場させたりするコンピュータアニメーションエンターテイメントに登場しています。

ホールトレインスタジオは、今回ヨーロッパで進行中のとても大きな仕事の機会に恵まれ、将来大きな売上増加につながるでしょう。

また、他のエンターテイメントスタジオについても買収計画が進行中であることもご報告致します。

過去に数々のアカデミー賞を獲得した映画「マトリックス」「ロードオブザリング」「ピーターパン」「キャットウーマン」などを手がけたことのある会社です。ここカナダでも大変人気があり大いに期待できます。

次に、次世代システムについては、引き続き開発、精査を続けており、間もなくテスト期間に入ります。このユニットのテストが終了次第、またご報告したいと思います。

また、装置の設置状況についてですが、ラバル大学でのスキャニングセンターの設置は完了し、5月28日にグランドオープニングセレモニーが行われました。たくさんの政治家や高官の方々が訪れ、我々の卓越した技術（これはカナダ国家研究会議に認められているものですが）に感銘を受けていました。

ギリシャの博物館、クサンティについても同様に、期待を上回るパフォーマンスに、将来大いに期待がもてるとの評価をいただきました。

パリ、ルーブルへは、すでに装置を発送しており、システムの設置作業とトレーニングは、この夏の終わり頃の予定です。

アイルランドのシステム契約についてはもうそろそろまとまる頃です。これについては、一週間のアイルランド滞在から帰国した Jim McGlone から日本の皆様に、直接詳しい報告ができるでしょう。

アイルランドでの2つめの嬉しいお知らせがあります。それぞれの装置の設置で、80万ドルずつの売上が予想されます。

前回日本に行った際にお話しましたが、2つのカナダの大学への Arius3D 装置の設置ではそれぞれのシステムについて40万ドルずつの売上が上がっています。正式な契約がもうすぐ完了するでしょう。

また、何週間か前にニューヨークで行われた 'The heritage365 会議' では、世界各国のミュージアムからの代表が集まり、多くの方々から熱烈的な興味を示していただきました。実際にそのうちの一つのミュージアムから Arius3D のシステム設置の申し出がありました。

上場については、すべての書類が提出され、現在返事を待っている所です。夏の終わり頃には、合体が完了します。次の説明会の際には皆様にさらに良いニュースを、お伝えすることが出来るでしょう。

最後になりますが、我々は今後もビジネスに邁進していきますので、次回は日本の投資家の皆様一人一人に、お会いできること、また次の四半期の報告をさせていただきます。

ありがとうございました。